

(HP 掲載用)

研究課題名	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) における骨髄浸潤の意義とその検出法についての研究(KOTO-BMI)
研究期間	西暦 2020 年 承認後 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL と略します) は悪性リンパ腫の中で患者数が一番多いとされています。悪性リンパ腫では全身のどの臓器にも病変が存在する可能性があります。その中でも DLBCL において骨髄へ浸潤している場合はしていない場合と比べて再発率が高いことや、治りにくいことが知られています。その骨髄浸潤の有無は骨髄生検という検査法で診断します。フローサイトメトリーや PET-CT などといった他の検査でも骨髄浸潤が判断できる場合がありますが現段階ではそれが再発率や治癒率とつながっているかははっきりしていません。骨髄浸潤に関する骨髄生検以外の検査法の検査結果に着目し、臨床経過を後方視的に検討し、特徴や問題点を明らかにすることで、今後の治療法の選択やその後の治療選択の改善に役立てたいと考えています。
研究方法	京都血液臨床研究グループ加入施設において 2012 年 1 月から 2018 年 12 月までに診断された DLBCL の患者様を対象とし収集した情報を基に無増悪生存期間、全生存期間、地固め療法・維持療法 の内容・頻度、その他予後に影響すると考えられる因子について解析します。 <情報> 患者背景、臨床所見、検査所見、治療法、効果判定、次治療の内容、転帰
個人情報の保護、研究参加の拒否について	この研究では、研究代表者の京都第一赤十字病院血液内科に情報提供を行います。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。

結果の公表	<p>研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません(公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです)。</p>
問合せ先	<p>【研究責任者】 京都第一赤十字病院 血液内科 内山人二 〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749 TEL:075-561-1121(代) FAX:075-561-6308(代) 受付時間:月~金、9~17時(但し、土日、休祭日を除く)</p>
研究組織	<p>【研究事務局】 京都府立医科大学 血液内科 講師 古林 勉</p> <p>【参加研究機関】 京都鞍馬口医療センター 京都第一赤十字病院 京都第二赤十字病院 京都府立医科大学医学部 大津市民病院 近江八幡総合医療センター 愛生会山科病院 松下記念病院</p>